

福島県で新たに発生が確認された宿根性スターチスうどんこ病

福島県農業試験場病理昆虫部・平成10年度病害虫防除試験成績概要

1 部門名 花き－スターチス－病害虫発生 05－15－22000000

2 要 旨

平成10年7月、普及センターより、大沼郡昭和村において、宿根性スターチスにうどんこ病に類似した病害が発生しているとの報告があった。うどんこ病であれば、本県での発生は初めてとなるので、発生実態調査を行った。

(1) 病徴は次のとおりであった。葉の表裏にうどん粉をまぶしたような白い斑点を生じ、症状の激しい株は、葉全体が白い菌叢に覆われていた。花茎にも白い菌叢を生じていた。

(2) 菌の性状をみると、分生子は分生子柄の先端に単性し、形は円筒形又は長楕円形であった。子のう殻の形成は確認されなかった。

以上、病徴及び菌の性状から、今回、宿根性スターチスに発生したうどんこ病類似病害をうどんこ病と診断した。

(3) 昭和村での発生品種は「ブルーファンタジア100」で、発生株率は100%であった。一方、同一圃場に栽培されていた「ミスティブルー」では、1株に病斑(200株調査)がわずかに認められた程度であった。田島町でも「ブルーファンタジア100」で発生が認められ、発生株率は100%であった。病害虫防除所の調査により、飯舘村での発生も確認されている。ここでも、発生品種は「ブルーファンタジア100」であった。

宿根性スターチスうどんこ病は、本邦においては、平成9年8月に三重県で発生が確認された新病害で、現在の所、三重県と本県の他に大分県、青森県での発生が報告されている。今後発生地域及び被害の拡大が懸念されるため、本情報を発生の早期発見に活用し、対策の資料として提供する。